

## E-3 : 専門業務

開催日時・会場 9月20日（木曜日）10:40-12:10 404(4階)

### 大学等の国際化と安全保障輸出管理

大学等の国際化を適切に進展させるためには安全保障輸出管理の遵守は必要である。

本セッションにおいては大学等における安全保障輸出管理の概要及び事例を説明するとともに、研究支援業務においてURAが支援すべき安全保障輸出管理のポイントを実務者の視点から紹介する。ここでは、1.留学生及び外国籍研究員の受け入れ、2.国際共同研究の実施、3.海外大学等からの研究室訪問、4.研究者の海外大学等への出張等を例にして、URAが実務において触れうるケースに焦点をあてて発表を行なうとともにディスカッションを行なう。

### オーガナイザー

蔭山 有生:

輸出管理DAY for ACADEMIA実行委員会・オブザーバー



上智大学法学部国際関係法学科卒業後、国立研究開発法人情報通信研究機構に入構し、主に安全保障輸出管理と国際連携業務に従事。その後株式会社村田製作所に入社し法務部において安全保障輸出管理業務に従事している。2015～現在輸出管理DAY for ACADEMIA実行委員会オブザーバー、2017～2018一般財団法人安全保障貿易情報センター(CISTEC)国際法制度委員会アジアWG委員、安全保障貿易管理士(総合)/STC Expert

### 司会者

河合 孝尚:長崎大学・研究国際部・コーディネーター

2008年に静岡大学大学院理工学研究科で博士号(情報学)を取得し、修了後は静岡大学知的財産本部にて産学官連携拠点形成に係る業務や安全保障輸出管理業務に従事した。その後、九州大学研究戦略企画室URAを経て現在の長崎大学研究国際部のコーディネーターに至る。現在の主な業務として安全保障輸出管理、ABS対応、軍事研究対策、研究倫理教育管理等の研究に関するリスクマネジメント全般に携わっている。

## 講演者

佐藤 弘基 : 九州大学・国際法務室・研究推進専門員 (URA)

九州大学大学院法学府博士課程中退。2007年より九州大学知的財産本部にて国際契約実務を担当し、その後、同大学の国際活動全般にかかる法務問題を扱う「国際法務室」の設置に関わる。同室では国際契約等の法務案件1,800件、安全保障輸出管理案件900件に携わるほか、米国の現状調査等を踏まえて学内の体制構築検討を進めるなど、輸出管理を含めた学内のリスクマネジメント全般に深く関与する。

井内 健介 : 徳島大学・研究支援・産官学連携センター・准教授

徳島大学大学院先端技術科学教育部システム創生工学専攻を修了後、徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部、東京エレクトロン株式会社を経て、徳島大学産学官連携推進部(現研究支援・産官学連携センター)に着任。2015年～経済産業省安全保障貿易管理調査員、2017年～経済産業省安全保障貿易自主管理促進事業に係る安全保障貿易自主管理促進アドバイザー。

小野 純子 : 一般財団法人安全保障貿易情報センター・  
情報サービス・研修部・副主任研究員

神戸大学大学院博士後期課程中途退学。大学を卒業後航空会社に勤務。その後学位を取得し、現職で輸出管理の調査研究・研修講師、米国の研究等を行う。一般財団法人平和・安全保障研究所日米パートナーシッププログラム第17期奨学生。近著に『米国輸出管理法と再輸出規制実務』。その他、執筆論文多数。

石川 綾子 : 名古屋大学・学術研究・産学官連携推進本部・  
リサーチ・アドミニストレーター/輸出管理マネージャー



名古屋大学法学部、同大学院法曹養成専攻修了。2012年名古屋大学リサーチアドミニストレーション室リサーチ・アドミニストレーター(法的・倫理的支援)着任、輸出管理マネージャーとして安全保障輸出管理、利益相反等リスクマネジメント業務に従事。2014年～経済産業省安全保障貿易管理調査員、2015年～輸出管理DAY for ACADMIA実行委員会委員、2015年～文部科学省「産学連携リスクマネジメントモデル事業」実施。

上釜 奈緒子 : 長崎大学・研究開発推進機構研究推進部門・URA



2007年 兵庫県立大院 生命理学研究科 博士後期課程修了。理学博士。自然科学研究機構(分子研)にて研究職、名古屋市立大にて産学官連携・研究リスクマネジメント業務(安全保障輸出管理等)の職に従事、2016年より現職。2016年度 JST目利き人材育成プログラム 研究推進マネジメントコースにてグループ討論講師を担当。今回は前職で担当した安全保障輸出管理の業務経験と、現職の研究・プレアワード系URAの視点に基づいて、皆様と意見交換ができればと思っています。